ブロックチェーンゲームの基礎知識から最新情報までお届け！

ブロックチェーン

ファミ通

何年たっても、
ゲームの思い出が
消えない世界。

Blockchain Game

〔BCG〕ブロックチェーンゲームの時代がやってきた！

ここ数年、あちこちで見聞きするようになった
“ブロックチェーン”や“NFT”、“Web3”というキーワード。
どうやらゲームの世界にも活きる最新技術らしい、とは思っても、
「要するにどういうもの？」と感じている人は多いはず。

本誌は、そんな「単語くらいは聞いたことがある」人や、
最先端のゲーム情報を積極的に仕入れたい人に、
ブロックチェーンゲーム（BCG）の基礎知識から歴史、
そして最新情報までをお届けする。

さまざまな企業が本腰を入れはじめ、
いよいよ大輪の華を咲かせようとしているBCG。
ゲーム業界の大きな潮流を見逃すな！

My Crypto Heroes（マイクリプトヒーローズ）

2018年にリリースされ、リリース後取引高やDAU（デイリーアクティブユーザー数）で世界一を獲得した『マイクリプトヒーローズ（マイクリ）』（MCH）。日本発BCGとして初のスマッシュヒットとなった、BCGの草分け的なタイトルだ。そのキャッチコピーである“ゲームにかけた時間もお金も情熱も、あなたの資産となる世界”という言葉は、まさにBCGを一言で表している。

CONTENTS

BCGってなんだ？	P.3	BCGデビューするには？	P.16
BCGの歴史と変遷	P.4	ファミ通注目の最新BCG7選！	P.20
Oasysの登場	P.6	ゲーマーのためのNFTプロジェクトOASYX	P.22
BCGに取り組む企業	P.9		

BCGってなんだ？

これまでのゲームと比べて、数多くの個性的な特徴を持つブロックチェーンゲーム（BCG）。まずは、基本中の基本となる要素から紹介していく。

キャラクターやアイテムが自分の“資産”になる

これまでの常識では、獲得したアイテムや育成したキャラクターは、あくまでもゲーム内だけでのもの。オンラインゲームの場合、サービス終了となれば、そのデータは消えてしまうものだった。当然ながら、アイテムを買ったお金や、ゲームで使ったお金も戻ってこない。

BCGが画期的なのは、そういった常識を根底から変化させたことだ。ブロックチェーン上で入手したアイテムやキャラクターは、NFTとして自分自身で管理できるため、別のゲームやアプリにまたがって使うこともできる。さらに、NFTやゲーム内の通貨は、暗号資産取引所やマーケットプレイスで売買することも可能なのだ。

自分自身が時間と情熱、そしてお金をかけて育てたキャラクターやアイテムが資産となる。ブロックチェーン技術は、これまでのゲームにない体験を創造したというわけだ。

ブロックチェーンの基本用語集

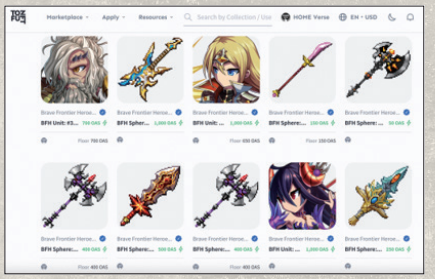
ブロックチェーン
インターネット上で通貨等、価値の移転を可能とする技術。複数のサーバー間で、取引が記録されたブロックを時系列に鎖のように繋げて同一のデータを分散保持することで、参加者の中に不正を働く者や正常に動作しない者がいたとしても正しい取引ができ、改ざんが非常に困難。

NFT
「Non-Fungible Token」（非代替性トークン）の略。ブロックチェーン技術がデジタルデータの改ざんを非常に困難にしたことで、デジタルデータに唯一性を持たせることができるようになった。BCGでは、キャラやアイテム、アバターなど、さまざまなものがNFTとして扱われる。

暗号資産
ブロックチェーン上で扱われる通貨。専用の取引所で現実の通貨（円やドル）と交換できる。ビットコインやイーサリアムが有名。BCGではゲーム内で使う通貨に用いられる。

ブロックチェーンの活用で実現すること

ゲーム外でアイテムの取引ができる



⬆OpenSeaやtofuNFTなどのNFTマーケットプレイス（取引所）では、NFTの売買が可能。ゲーム外でキャラやアイテムの取引をできるのはBCGの大きな特徴だ。

アイテムを複数のゲームで使える

⬆NFT化されたアイテムは、それを入手したゲームのなかだけでなく、別のゲームで使えるものもある。こういったゲームタイトルをまたいで活用できる取り組みは、今後増えていきそうだ。

BCGの歴史と変遷

誕生して間もないBCGだが、これまでの変遷はモバイルゲームと共通点が多いことに気付く。両者の歴史を振り返りつつ、BCGの現在地点を探る。

ゲームの新しい潮流が生まれるまでの流れを踏襲

モバイルゲームもBCGも、その技術がゲームに応用されて登場した当初は、極めてシンプルなゲームばかりだった。2017年に登場し、NFT化されたキャラクターが高額で取引されて注目を集めた『CryptoKitties』(Dapper Labs)もゲーム性は乏しかった。

その後、『My Crypto Heroes』の登場以降BCGは少しずつゲーム性が洗練されていき、ゲームモデルの多様化も進んでいった。近年では、2021年頃から「Play to Earn(遊んで稼ぐ)」モデルのゲームが大流行し、「ゲームプレイが収入になる」という触れ込みは大きな注目を集め、BCGの知名度向上に貢献している。

急成長中のBCGだが、これまではゲームメーカーも試行錯誤中な側面が強く、各社の主力タイトルがBCGで登場することは皆無に等しかった。しかし、いよいよその潮流が大きく変わろうとしている。モバイルゲームが主流になった時期と同様に、著名ゲーム会社が次々とBCGへの参入を表明しはじめているのだ。これをきっかけに、BCGユーザーは大きく増加することになりそうだ。

世界でヒットしたタイトル例

初期のモバイルゲームはトランプやリバーシなどのカジュアルなゲームがメインであり、目の肥えたゲームファンにとっては物足りなかったことは否めない。しかし、携帯電話やスマートフォンの普及とともにユーザーが増加したことで、ゲームメーカーも斬新でモバイルゲームならではのゲーム性を兼ね備えたゲームを次々と開発していった。

特に『パズル&ドラゴンズ』(ガンホー・オンライン・エンターテイメント)や『モンスターストライク』(MIXI)、『白猫プロジェクト』(コロプラ)などの登場は、ゲーム業界に特大のインパクトをもたらした。これらはケタ外れの大ヒットとなり、またたく間にモバイルゲームをゲーム業界のメインストリームに育てあげた。現在はあらゆる有名タイトルも参入し、多くのゲームファンを楽しませてくれている。

BCGもまた、ユーザー層が広がり、大ヒットが生まれ、急激な成長を遂げようとしている。モバイルゲームの歴史になぞらえてみれば、今後、成功モデルの出現や有名タイトルのリリースを期待せずにはいられない。そして、その期待に応えてくれそうなのが、まさに今年というわけだ。

←リリースから10年を経過してなおトップレベルの人気を誇る『モンスト』は、ソシャゲの代名詞的な存在の1つに。

⬇本格的なゲーム性を兼ね備えた初のBCGと言っていい存在、『My Crypto Heroes』。これらオリジナル作品以外にも、大作の登場が待たれる。

©MIXI

新しいプラットフォームでゲームが生まれてから大きく飛躍するまでのイメージ

モバイルゲームの発展の歩み

Phase 1 個人開発期	Phase 2 スタートアップ期	Phase 3 発明期	Phase 4 IP活用期
新技術に注目した個人レベルの開発者がシンプルなゲームをリリースしはじめる。知名度は限定的。	新しい体験に敏感なアーリーアダプター層が注目し、開発者が資金調達を試みはじめる。	参入タイトルが増加し、試行錯誤を重ねて成功の型ができてくる。ゲームの規模もユーザー数も本格化。	著名メーカーが強力な自社IPを投入。認知度、ユーザー数が爆発的に伸び、マスアダプションの域に到達。
トランプなど簡単なゲームが出現 携帯電話が普及し、その性能が上がるにつれモバイル環境で遊べるゲームが登場。初期はトランプやリバーシなどシンプルな内容が多かった。	専門的に開発するスタートアップ企業が出現 モバイルゲームの可能性に注目する人々がチームでゲーム開発に取り組むようになり、資金調達も試みる。ゲーム性の多様化も進み、スマートフォンならではのゲームが現れはじめる。	大ヒット作が出現、一気にメインストリームへ 『モンスターストライク』や『白猫プロジェクト』などが大成功を収め、成功例として認知される。モバイルゲーム業界もユーザー数も爆発的に成長。競合タイトルも多数登場して業界全体が活性化。	有名IPや大型タイトルが続々と参加 モバイルゲームは市場に確固たる地位を築き、現在はあらゆるゲームメーカーが自社の主力タイトルを投入。市場規模、ユーザー数がともにゲーム業界の中心へ。
ゲーム性よりも新技術に注目される 一部の技術者の間でブロックチェーンに注目する動きが見られ、簡単なゲームが開発された。初期はあまりゲーム性がなく、チャレンジの色が濃かった。	本格的にBCGに取り組む企業が出現 本格的にBCG開発に乗り出すスタートアップ企業が出現。『CryptoKitties』や『My Crypto Heroes』が注目を集める。	NFTが定着するとともにヒット作が出現 Play to Earn(遊んで稼ぐ)という新しい形を提案した『Axie Infinity』(Sky Mavis)、Move to Earn(移動で稼ぐ)を打ち出した『STEPN』(Find Satoshi Lab)が大流行し、新たな発明の片鱗が見え始めた。しかしながら持続性に課題があり、まだ発明の途中だ。	

BCGにあてはめてみると……

BCGの現在地はここ!

モバイルゲームのこれまでの流れになぞらえてみると、BCGはPhase3に位置していると言っていい。ヒット作が登場し、認知が広まってきたことで、誰もが知っているような大手メーカーやビッグタイトルが続々と参加を表明しているのだ!

Oasysの登場

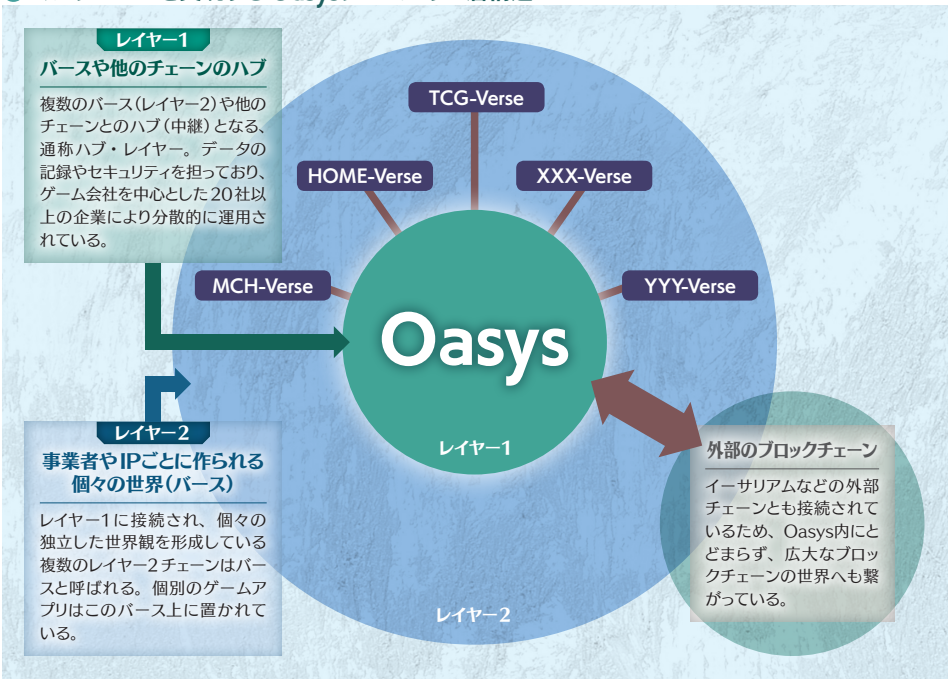
ゲームに特化した新しいブロックチェーンとして2022年に誕生したのが「Oasys」。その全体像と特徴について紹介していこう。

ゲーム特化のマルチバースを実現するブロックチェーン

「メタバース」や「Web3」など、次世代を感じさせるキーワードが飛び交うが、そこに真っ向から挑む新たなブロックチェーンがOasysだ。Oasysが特徴的なのは、事業者やIPごとに多種多様なバース（世界）が構築される点にある。誰もが日常生活でSNSを行き来したり、意識せずとも多様なコンテンツに触れているように、デジタルの世界でも、例えばお気に入りのアバターを使って、いつもとは違うゲームをプレイできたらワクワクしないだろうか。そんな未来をイメージさせてくれるのが、Oasysのマルチバース構想だ。

⬆ Oasysの公式サイトで掲出されるキーワード。数あるブロックチェーンのなか、ゲームに特化した機能を備えることが特徴。

マルチバースを実現するOasysチェーンの二層構造



国内外の有力ゲーム会社が多数参画

Oasysが担うのは、BCGの確固たる基盤を築く役割だ。とはいえ、例えばゲーム専用機がどんなに進化してもソフトがなければ見向きもされないのと同様に、ユーザーにとっては「どんなゲームが遊べるか」がもっとも重要だろう。その点で、Oasysは早期から多数のゲームメーカーと密に連携している。下記は、ゲーム展開やOasysのチェーン運用、バース構築などで連携を表明している主要なパートナー企業だが、ゲームファンであればピンとくる社名が並ぶ。これからどんなゲームやブロックチェーンならではのアイデアが出てくるか、期待が高まるばかりだ。

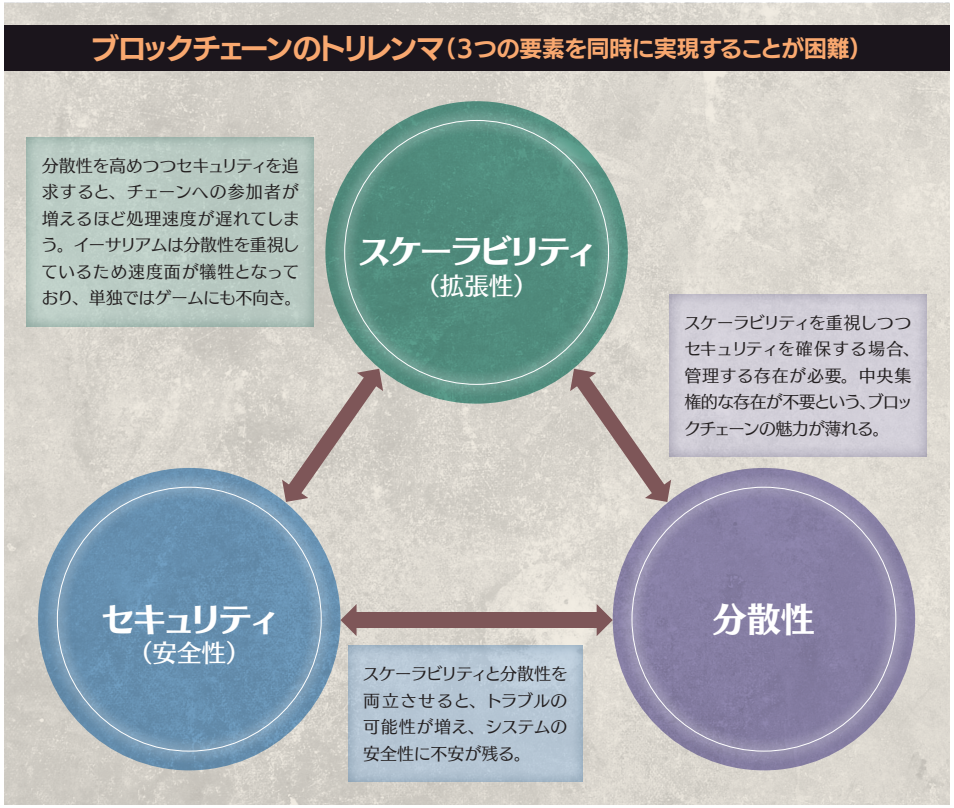
Oasysと連携するパートナー企業（一部抜粋）

BANDAI NAMCO
バンダイナムコ 研究所
COM2uS
CryptoGames
DMM.com
double jump.tokyo
GREE
gumi
MCH
MYTHICAL
NEOWIZ
netmarble
PLAYART
SEGA
SQUARE ENIX
thirdverse
UBISOFT
WEMADE

ブロックチェーンの課題克服への取り組み

ここまではOasysの、ひいてはブロックチェーンそのものの基礎知識と魅力について紹介してきた。一方で、新しい技術であるがゆえに、いくつかの課題も抱えていることもスポットをあてておきたい。ブロックチェーンは以下の3つを同時に成立させることができないという課題がある。この3者間の関係性を「ブロックチェーンのトリレンマ」という。ブロックチェーンの世界ではたびたび議題となるテーマだが、技術は日々爆発的に進化する。そして開発者たちの尽力によって、この問題に対して1つの解決策を提示したのがOasysというわけだ。

ブロックチェーンのトリレンマ（3つの要素を同時に実現することが困難）



Oasysが解決するスケーラビリティの課題

BCGを運営する際の最大の障壁は、トリレンマにおけるスケーラビリティだ。ゲームは一般のアプリと比較すると、トランザクション（情報処理）が多い。速度が遅くなったり、ガス代と呼ばれる手数料が高騰しては、ゲーム環境としては致命的だ。そこでOasysは、ゲーム特化の環境を追求し、チェーンを二層構造で構築した。レイヤー1で分散性とセキュリティを維持しつつ、ゲームはレイヤー2に置くことで負荷を軽減させたわけだ。こうして、分散性・安全性を保ちながら、ユーザーにとっては高速で快適、かつガス代の負担がない環境を実現している。

BCGに取り組む企業

BCGの開発に取り組んでいる国内外の企業のうち、27社からコメントをいただいた。掲載は英文社名準拠のアルファベット順となっている。

Alim

エイリム

我々は「ブロックチェーンゲーム」を作るのではなく、新たなゲームに対して、システムとしてブロックチェーン利用を進めています。これまでの投機的なものではなく、ゲーム自体が魅力的で遊びごたえのあるもので、そこに一部ブロックチェーンというシステムが存在する状態です。そこには、プレイデータを売買できる、というよくあるものもあれば、新たなゲーム体験として機能するものもあります。ゲームでお金を稼げる……という面について、戸惑われる方も多いですが、考えてもみてください。ゲーム以外の殆どのものには既にある側面です。プロゲーマーとして賞金を稼ぐ、ゲーム実況者として広告収入を稼ぐことが珍しくなくなった今、なぜ、フリーマーケットは存在してはならないのか？　ゲームが「文化」となり、ビジネス的にも一大産業となった今、「ゲームではやってはいけない」というのはむしろ不自然です。10年後の当たり前のため、自然に、真っ当に、ブロックチェーンという仕組みを利用したゲーム提案をしていきたいと考えています。

BLOCKSMITH&Co.

株式会社BLOCKSMITH&Co.は、「クイズでためる『QAQA（カカ）』」を開発中です。世界的なトレンドである縦型ショート動画の2択式クイズアプリです。Web3の知識がなくても誰にでも無料で始められ、解答者と出題者のどちらでも楽しむことができます。『QAQA』はこれまでのブロックチェーンゲームのハードルを取り払うことでWeb3への入り口を目指します。

BLRD

グリー100%子会社のBLRDでは、現在2023年末までにゲームをリリースする予定で開発を進めております。またAvalanche、Oasys、Polygon、Roninといったブロックチェーンノードの運営やトークンを含めた投資活動を通じて、この全く新しい領域への理解とパートナーシップの構築を進めています。新しいテクノロジーを使った全く新しいゲームを作れることにとてもワクワクしています。従来のゲームとは全く異なるブロックチェーンならではの特徴を生かしたゲーム体験をお届け出来るべく鋭意開発を進めております。twitter @HelloBLRDを是非フォロー頂き、今後の続報にご期待ください。

COLOPL ／ Brilliantcrypto
コロプラ／ Brilliantcrypto

colopl Brilliantcrypto

持続可能なPlay to Earnを実現するために、昨年ブロックチェーンゲームの開発を行う「株式会社Brilliantcrypto」を設立しました。現在のPlay to Earnは持続可能性に課題を抱えていると考えています。その課題に向き合い、ゲームをプレイすることが世の中に価値を生み出す「Proof of Gaming」というコンセプトで持続可能なPlay to Earnを実現していきたいと考えています。年内β版リリースに向けて、これまでにない本格的なクオリティのブロックチェーンゲームを開発中です。ぜひご期待ください。

Com2uS USA

COM2US

現在のWeb3ゲームでのユーザー体験に見られるように、ブロックチェーン技術とWeb3ゲームはまだ発展途上にあります。しかし、ブロックチェーン技術はゲーム体験全般を向上させると考えており、当社のタイトルのほとんどはWeb3の要素を持つことになります。私たちは、次世代のゲームを開拓することに喜びを感じています！

CROOZ Blockchain Lab

CROOZ Blockchain Lab

弊社では『PROJECT XENO』というBCGを開発中で、日本ではヒカルさん、東南アジアではマニー・パッキャオさんと世界TOPを目指して各国のアンバサダーを交えたマーケティングを行っています。『XENO』ではWEB2とWEB3を繋ぐWEB2.5のゲームを目指してFREEプレイの導入やウォレットやマーケットを使わないでも通常のゲーム同様にプレイが可能になっているなどチャレンジングな取り組みが複数なされています。ゲームユーザーの誰しもが一度は考えた事があると思われる遊びが資産に変わっていくBCGが当たり前になる世の中を作るための最初の架け橋を目指します。

CryptoGames

CryptoGames

私自身、元々ゲーマーで新卒入社をしたサイバーエージェントでもゲーム事業に携わっていたのですが、2017年末に『CryptoKitties』と出会い「これまでゲームの中で唯一できなかった、お金を稼げる世界が来る」と革命を感じ、起業しました。いずれスタンダードになるという希望と覚悟を込めてCryptoGamesという会社名に決め、2018年の創業以来5年間ブロックチェーンゲームの開発・運営に取り組んできました。マスアダプションまでは5〜10年かかる事業と考えていましたが、2021年頃からNFTが話題となり、『Axie』・『STEPN』が生まれるなど、まさかこんな短期間で市場の土台が整うとは思っていませんでした。Oasys L2の自社チェーン「TCG Verse」上の『CryptoSpells』、『NFTWars』、協業ゲームから、次のヒットサービスを創出して参ります！

Digital Entertainment Asset

Digital Entertainment Asset Pte. Ltd.

DEAでは、独自暗号資産DEPを通じて新しい体験価値・Web3エンタメを提供するGameFiプラットフォーム「PlayMining」を運営しています。浮き沈みの激しい業界にあって、フラッグシップの『JobTribes』は2年以上に渡る運営実績、世界有数のユーザー数を誇るタイトルとして成長を続けています。DEAは、ブロックチェーンゲームには「ゲームを遊ぶことが人のためになり、それが新しい楽しさになる」という従来のゲームにはなかった体験価値があると確信しています。今後、PlayMining上で誰もが楽しめる多様なコンテンツをさらに充実させながら、ゲームの枠を超えた新しいエンターテインメントの形を追求していきます。

DM2C Studio

DM2C Studio

現在DM2C Studioでは、2023年リリース予定『かんぱに☆ガールズ Re:BLOOM』の開発を行っています。ブロックチェーンゲームをより多くのプレイヤーの皆様に遊んでいただけるように、“ソーシャルゲーム＋α”で遊べるコンテンツの構想・開発に力を入れています。ブロックチェーンの技術だからこそできる“新しい遊び”が、次世代型ゲームのスタンダートになること、その未来に期待と大きな可能性を抱いています。

double jump.tokyo

double jump .tokyo

2018年ブロックチェーンゲーム開発会社として創業、2019年にはブロックチェーンゲーム『マイクリプトヒーローズ』でEthereumにおいて取引高・取引量・DAUで世界一を記録しました。現在はLINE Blockchainを活用した『資産性ミリオンアーサー』や、Oasysでリリース予定のSEGA『三国志大戦』IPを活用したブロックチェーンゲーム等に注力しています。また、日本ブロックチェーン協会（JBA）やCESAと共に業界支援に取り組んでいます。話題になるブロックチェーンゲームが増えないとユーザーは増えないので、大手ゲーム会社等と協力してより良いコンテンツを世に出していくことが業界の発展につながると思っています。

DRECOM
ドリコム

DRECOM with entertainment

ドリコムの取り組みとしてはまずNFTだけを使うゲームのチャレンジとして『GGGGG』がリリースされます。さらに現在開発を進めている『Wizardry』のIPを活用したブロックチェーンゲームではNFTとFTの両方を用いる予定です。ブロックチェーンゲームがもたらす新しい体験のひとつは二次流通市場であり、そこに新しい遊びが生まれると予想しています。ドリコムでは2017年からブロックチェーンゲーム開発の取り組みを開始し、一度は諦めたという経緯もあり、今回は粘り強くこの新たなうねりの可能性を信じ、ブロックチェーンゲームという新たなマーケットの成長と拡大に向けて様々なチャレンジを続けていきたいと考えています。

enish
エニッシュ

2009年からゲーム開発に専心してきたenishが、ブロックチェーン技術とゲーム開発ノウハウの掛け算でなにができるのか？　私たちの答えは「しっかりゲームとして遊びごたえのあるブロックチェーンゲームを作る」ことでした。これまでのブロックチェーンゲームは、投機的である等のネガティブな側面が取り上げられがちではありますが、私たちはブロックチェーンがゲームに新たな体験をもたらすと確信しております。現在のモバイルゲーム市場にある魅力的なタイトルに匹敵する「無料でも十分楽しく夢中になることができる」ことに加えて、ブロックチェーンならではの「トークンやNFTを軸に所有や生産ができる」機能を盛り込んだ新しいゲームをユーザに提供していきたいと考えております。ぜひご期待ください。

GMO MEDIA
GMOメディア

ブロックチェーンゲームは国内でも近年期待値が高まって来ておりますが、今後大手パブリッシャーやIPの参入が市場の盛り上がりを急加速していくのではないかと期待しております。一方で、ゲームに興味を持つ人達にわかりやすいサービスUXや遊び方、ちょっとお得に遊べる体験がゲームの中に増えていくと利用者の裾野も広がる可能性がありますので、当社のポイント・決済基盤なども活用することでこれからのブロックチェーンゲームの成長に寄与できればと考えております。

gumi

gumiでは、従来のモバイルオンラインゲーム事業と投資事業で培った知見を活かして、ブロックチェーンゲームの開発を推進しています。ブロックチェーン技術を活用することで、これまでにないユーザー体験を提供し、ゲームの面白さを深めることができるようになるとともに、ゲームの外においてもコンテンツに依存しない経済圏を構築することが可能になるなど、新たな付加価値をもたらすことができるようになります。ブロックチェーンゲームが新産業として、国内外で大きな市場を形成しうることに可能性を感じています。

Intella X (NEOWIZ)

Web3ゲームはWeb3のマスアダプションを可能とするキラーDappである。Intella Xはこのような変化を新しいゲーム産業のパラダイムとして捉え、次の考えの基に準備を進めている。1つ目は、ゲーム資産の所有権を提供することはもちろん、エコシステムへの貢献度に応じて開発会社やユーザーへプラットフォームトークン(Intella X Token)を支給し、さらに売上分配の形で報酬を支給するWeb3のゲームプラットフォームを目指すことである。2つ目は、簡単に利用できるWeb3ゲームプラットフォームを目指すことである。特に独自的に開発したIntella X walletは、登録段階でニーモニックを要求しない「ソーシャルログイン」方式で登録に対するハードルを大きく下げた。さらに、メタトランザクションを導入しインゲームで獲得したゲームトークンでGas feeを支払うことをできるようにした。つまり、Gas fee支払いのためにメインネットのコインを取得するハードルも下げたシステムである。ユーザーのサービス利用に対するハードルを下げユーザービリティを強化し、Web2のユーザーをWeb3に定着させてWeb3ゲームを楽しませることがIntella Xの最終的な目標と言える。

Konami Digital Entertainment
コナミデジタルエンタテインメント

ゲームはこの10年、手元で手軽に楽しめることや人とつながる体験によって、プレイヤー数が飛躍的に増加しました。次の10年もWeb3やメタバースなどによって、ファンコミュニティの広がりやデジタル上でできることが増え、ゲームの体験価値がさらに高まりプレイヤーが増え続けていくことを期待しています。わかりやすくて面白いということがゲームには必要です。新しい体験が一般化していくにはもう少し道のりはありそうですが、ファンが求める方向に遊びが進化していくその過程もエンタテインメントになるのだと感じています。

MARBLEX

一般的なプレイヤーがブロックチェーンゲームに慣れるまでには、比較的長い時間がかかると言われています。しかし、現在のモバイルゲームのようにWeb3ゲームが当たり前になる時代がやってくるはずです。私たちは、来るべきその時代に向けて準備をしており、プレイヤーがWeb3ゲームに簡単に適応できるよう、メインネットに匹敵する幅広いエコシステムと関連サービスを作りました。MARBLEXは、Netmarbleの大ヒットゲームの力を借り、「大衆化」というキーワードに焦点を当て、プレイヤーにフレンドリーかつカジュアルな体験を提供します。『Meta World: My City』(ゲットリッチ2：Meta World)は、ブロックチェーンゲーム普及への第一歩を踏み出す最初の企画となります。

MCH

「ゲームにかけた 時間も お金も 情熱も、あなたの資産となる世界」の実現を目指し、『My Crypto Heroes』、『My Crypto Saga』および『MCH Verse』の開発・運営を行っています。ブロックチェーンゲームではNFTや暗号資産の取引価格が注目されがちですが、ゲーム履歴やコミュニティ、ブロックチェーンならではの体験などもMCHが大切にする資産です。まだまだ黎明期の今ならではの体験や世界をぜひ一緒に楽しみましょう！

MIXI
ミクシィ

記憶はコミュニケーションを豊かにします。人と人との繋がりを豊かにすることを大切にしている私たちは現在、スポーツ特化型NFTマーケットプレイス「DAZN MOMENTS」において、ブロックチェーンを使って「記憶をアーカイブする」取り組みをしています。加えて、エンターテインメントはその記憶を質量ともに増幅してくれます。『モンスト』を筆頭に培ってきた驚きを、体験に紐付けてエピソードに変え、ブロックチェーンを掛け合わせてそのエピソードを記憶化することで、既存のコミュニケーションパスをアップデートしていく、そういうコンテンツを生み出していきたいと思っています。

Mythical Games

私たちMythical Gamesは、Web3の導入により、デジタル資産の所有による新しいゲーム体験やエンゲージメント手法をプレイヤーやステークホルダーに提供できたとき、消費者の行動に大きな変化が起こると考えています。日本と欧米のユーザーの間で、ゲームとIPを深く結び付ける手段を模索していくことを楽しみにしています。

Nexon

ネクソン

ネクソンでは持続可能なオンライン世界を実現するため、当社最大のIPのひとつである『メイプルストーリー』にブロックチェーン技術を採用した『メイプルストーリー N』を開発中です。『メイプルストーリー N』は、ゲームの本質的な楽しさを最大限に引き出しながら、インフレを抑えるというMMORPGの理想領域に挑戦し、プレイヤーの皆さまに新たな楽しみをお届けすることを目標としています。まだ馴染みがなく、難しいと感じる方も多いですが、ゲーマーの方々にブロックチェーンゲームを気軽に楽しんでいただける日が来ることを心から願っています。ぜひご期待ください。

NHN

これまでゲーム産業はデバイス、プラットフォームなど多様な技術の発展とともに成長してきました。Web3時代を迎えブロックチェーン技術の導入は改めて新しいチャレンジの機会だと思います。NHNもこのようなWeb3時代の流れに合わせてブロックチェーン技術を導入した幅広いゲームを準備しており、最初のタイトルとして日本や東南アジアなどグローバルで人気が高い当社のIP『ウパル』シリーズのブロックチェーン版『ウパルオデッセイ』を近日中に公開する予定です。誰でもブロックチェーンゲームを気軽に楽しめるように、NHNは引き続き技術発展に集中しながら、何よりゲームの本質である「面白さ」を追求したブロックチェーンゲームを提供してまいりますのでぜひご期待ください。

PLAYTHINK

プレイシンク

『Jリーグトレーディングサッカー』(トレサカ)は実在選手を組み合わせた自分だけのチームを作り、1万人規模のユーザー同士で対戦する楽しさに加え、選手を育ててNFTとしてマーケットプレイスで販売するという、育成とトレードも楽しめるゲームです。ブロックチェーン技術によってゲーム内の選手を本当に「保有」できるようになり、トレードをすることで「稼ぐ」ことができる、新しいエンターテイメントをぜひ体験してみてください!(本タイトルは、公益社団法人日本プロサッカーリーグからプレイシンクがライセンス商品化許諾を受け、OneSports、プレイシンク、アクセルマークの3社共同で運営、提供しております)

SEGA

セガ

セガはdouble jump.tokyo社に『三国志大戦』IPの使用を許諾しており、double jump.tokyo社がブロックチェーンゲームを展開予定です。ブロックチェーンはメタバースをはじめとしたデジタル空間での経済活動を実現する重要な技術の一つだと考えており、デジタルアセットをユーザーが所有・交換したりゲームの垣根を越えて使用できるようになることで、ユーザーやクリエイターなどコミュニティのあり方も変わり、従来のゲームにはない新たな遊びや体験を実現できる可能性があると考えております。具体的な取り組みについて現時点でお伝え出来ることはありませんが、ユーザーの皆様にはこれまでにない感動体験を提供したいと考えておりますので、今後のセガの取り組みに是非ご期待ください。

SQUARE ENIX

スクウェア・エニックス

ブロックチェーンゲームと一言でいっても必ずしもトークンを発行するものが前提になるわけではなく、様々な形があると考えています。『資産性ミリオンアーサー』は、NFTを活用したサービスを先にローンチをし、その後そのNFTを活用したゲームの開発に取り組み、『SYMBIOGENESIS』は、NFTアートとしてのサービスの中にゲーム要素が組み込まれています。ブロックチェーンを活用することは、お客様に新しい体験を提供し、デジタル資産としての価値を維持するためのサステイナブルな設計が重要な要素であり、同時に安心してコンテンツを利用できる環境の整備にも努めて参ります。

Thirdverse

Thirdverseのブロックチェーンゲーム事業は、「ゲーム開発」と「プラットフォーム構築」の2軸で事業展開しています。2023年1月にはキャプテン翼のIPを活用した『キャプテン翼RIVALS』をリリース致しました。この他にも、すでに5本以上のタイトルを開発しております。我々のミッションである、安心して遊べる持続可能な経済圏の提供と、ブロックチェーンゲームのマスアダプションを通じて、ブロックチェーンゲーム領域での世界一を目指します。

Wemade/WEMIX

Wemadeは、WEMIX 3.0のエコシステムを拡大し、今年中にウォレット数と取引量の面で世界トップ5のメインネットになることに注力しています。最終的な目標は、No.1のメインネットとなり、グローバルな経済プラットフォームとなることです。そのため、Weknomoyの構築やKLEVAなどのプロダクトの運用、独自のEVMレイヤー2ソリューション(WEMIX Kanvas)の開発など、WEMIXエコシステムに貢献するための取り組みも行っています。私たちのチームは、ユーザーやパートナーにより良いサービスを提供するために、エコシステムを改善することに専念しています。

BCGデビューするには？

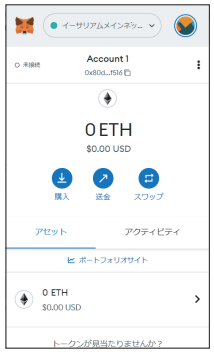
ここでは、実際にBCGをはじめるにあたって必要な情報を紹介。予備知識から、ウォレット作成までを解説していく。

BCGを楽しむためのツールやシステム

BCGをプレイするためには、予備知識として特有のツールやシステムを知っておきたい。BCGで使用するアイテムや暗号資産は、自分自身の資産として扱うため、ゲーム外で管理したり取引するための周辺ツールの利用が必須となるためだ。下記で特に重要となる４つを紹介しよう。

ウォレット

「資産を自分で管理する」ための第一歩が、デジタル上の財布であるウォレットを持つことだ。ここからさまざまなブロックチェーンに接続し、ＮＦＴや暗号資産の取引や送受信ができる。ウォレットへのアクセスはＰＣでもスマホでも、端末を問わない。ウォレットの作成はP.18で詳しく解説している。



暗号資産取引所

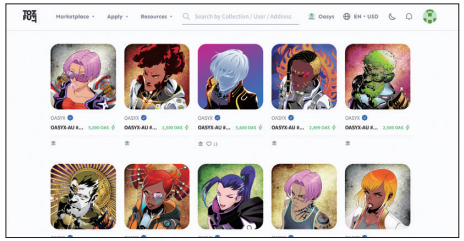
暗号資産取引所では、暗号資産と各国の法定通貨を交換できる。たとえば日本円でビットコインを買ったり、BCGで得た通貨でドルを買うことが可能だ。取扱通貨の種類は取引所ごとに異なるため、必要な通貨に対応した取引所を選ぼう。

分散型取引所（DEX）

暗号資産取引所では、銀行のように特定の法人によって取引が管理されているが、分散型取引所（略称は「DEX」。対して、中央集権型取引所の略称は「CEX」）には中央集権的な管理者が存在しない。そのため、自由度高く通貨を取引することができる。

NFTマーケットプレイス

NFTそのものを売買できる場所。OpenSeaやtofuNFTが有名。ゲーム内でゲットしたキャラやアイテムのNFTを出品したり、逆にここで購入したNFTをゲームで使用することができる。レアアイテムには高額な価格がつくこともある。フリマアプリのNFT版と言える。



SNSやギルドからBCGの最新情報をゲット！

ゲームを楽しむためには情報収集も欠かせない。情報がスピーディーに更新されていくBCGの世界では、特におすすめなのがSNSやコミュニティの活用だ。同好の士が集う場では、常に活きた情報が飛び交い、公式からの正確なニュースも最速で入ってくる。ここでは、代表的な２つのコミュニケーションアプリと、BCGならではの存在であるギルドを紹介する。

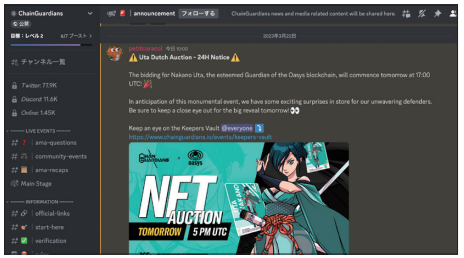
←BCGの公式サイトは、その多くがサイト内から公式ＳＮＳやコミュニティにリンクしている。

Twitter

Twitterでのゲーム公式アカウントはゲームの最新情報を入手する代表的な手段。それはBCGにおいても同様だ。公式を模した悪質なアカウントも存在するため、必ず公式であることを確認してフォローしよう。また、プレイヤーの個人的なツイートも多く、同じゲームの仲間を見つけるのにも最適だ。

Discord

ゲーマーに特に人気があるチャットアプリの1つ。ユーザーと運営、またユーザー間のコミュニケーションが行われる場で、コミュニティが重視されるBCGではTwitterと同等に重要な存在だ。ここだけでシェアされる先行情報も多いため、気になるタイトルは公式チャンネルに参加しよう。



BCGシーンに広がる“ギルド”という取り組み

世界には大小さまざまなコミュニティが存在するが、BCGで特に注目したいのが“ギルド”だ。同じゲームに興味を持つプレイヤー同士が交流したり、協力プレイするためのチームのような存在だが、BCGではチームで協力して得たアイテムなどの資産を共同で管理・分配できるのが大きな長所。ブロックチェーンが持つ資産管理の安全性や、取引記録が残るというデータの透明性を背景に、チームで協力して報酬獲得を目指す楽しみ方が注目されている。

世界最大のゲーミングギルド・YGG

YGG（Yield Guild Games）は、DAO（分散型自律組織。権力を持った管理者を持たず、参加者全員で管理する組織）で運営される世界最大のゲーミングギルド。ブロックチェーン技術を活かし、BCGを通じて利益を創出する仕組みを確立させた。ゲームを「遊び」だけでなく「稼ぐ」へと昇華させ、新しい価値観をもたらした。

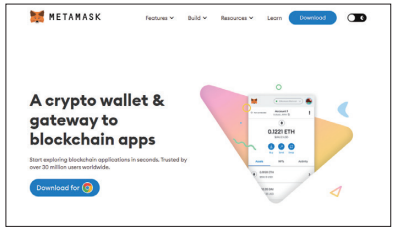
YIELD GUILD GAMES

日本のゲームシーンを世界とつなぐForNの挑戦

YGGが日本に上陸して誕生したギルドが「YGG Japan」。このギルドを運営するのが、YGGと協業する日本企業のForNだ。日本発のBCGの情報発信やコミュニティ支援、ツール開発やインフラ整備を行い、ギルド運営とともに日本のコンテンツを世界へと発信する活動を行っている。

『メタマスク』でウォレットを作ってみよう

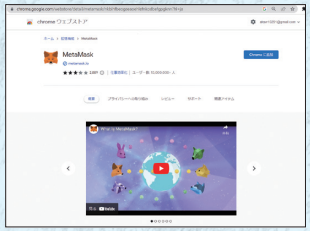
ウォレットにはさまざまな種類があるが、現在、世界でもっとも普及しているウォレットが『MetaMask（メタマスク）』だ。完全無料で日本語に対応しており、PCでもスマートフォンでも使えることから、日本でも主流となっている。ウォレットを用意しておけばNFTも暗号資産も自分で管理できるため、すでに運営されているBCGはもちろん、今後登場する多くのBCGでもすぐに役立つだろう。



←『メタマスク』の公式サイト。開発・運営しているのは、アメリカのConsensysだ。

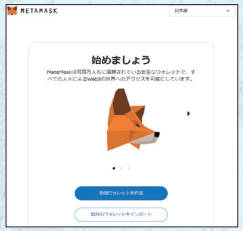
PCでのウォレット作成の流れ（Google Chromeの場合）

1 ブラウザの拡張機能で『メタマスク』を入れる



ブラウザでChromeウェブストアにアクセスし、拡張機能の『MetaMask』を表示。画面右上の「Chromeに追加」をクリックしてインストールしよう。キツネのアイコンが目印だ。

2 ウォレットを作成

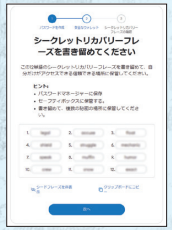


『メタマスク』を起動し、初めてウォレットを作る人は「新規ウォレットの作成」を選択。その後プライバシーポリシーを確認し、OKであれば「同意します」を選択しよう。

3 パスワードを設定

パスワードは『メタマスク』を起動するたびに入力を求められるため、使用頻度が多くなりがち。他のパスワードとの共用は避けたいが、忘れにくいものを設定しよう。

4 シークレットリカバリーフレーズをメモ



最後にシークレットリカバリーフレーズをメモするというウォレット特有の作業を行う。シークレットリカバリーフレーズはウォレットの復元、インポートに必要となる。12個の単語とその順番が重要なので、間違えないようにメモを取ろう。

シークレットリカバリーフレーズの管理は厳重に！

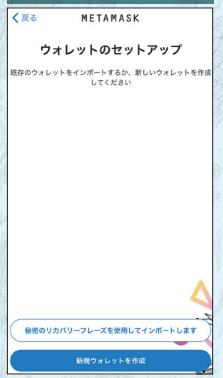
シークレットリカバリーフレーズは、ウォレットを復元・インポートできる暗号だ。万が一アプリの削除をしたり、PCやスマホが故障や買い替えになった場合でも、この暗号さえわかっていればどの端末からでもウォレットにアクセスできる。ただし裏を返せば、シークレットリカバリーフレーズを知っていれば誰でもウォレットを操作できるということだ。いかにセキュリティが万全なブロックチェーンといえども、これを他人に知られたらどうしようもないので、ウォレットと同じPCに記録したり、画像で保存するのは避けよう。手書きでメモし、誰にも見せずに保管するのが望ましい。キャッシュカードの暗証番号をカードに直接メモする人がいないように、厳重な管理を心がけてほしい。

スマホでのウォレット作成の流れ（iPhoneの場合）

1 アプリをダウンロード

ダウンロードストア内で『MetaMask』のアプリをダウンロード。表示アイコンはPCと微妙に異なるが、アプリのロゴは共通だ。

2 ウォレットを作成

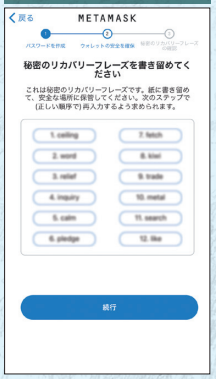


インストールされたアプリのアイコンをタップすると、PC版と同じくウォレットのインポートか新規作成かを選べるので、新規作成を選択。

3 パスワードを設定

パスワードの設定もPC版と大きくは変わらないが、iPhoneではFace IDの設定も可能となっている。毎回パスワードを入力したくない人に最適だ。

4 シークレットリカバリーフレーズをメモ



PCと同様に、最後にシークレットリカバリーフレーズを控える。漏洩を防ぐため、PCやスマホに保存したり、スクリーンショットは避けておきたい。

エアドロップでNFTを受け取ろう！

ウォレットを開設したら、さっそく「自分で資産を管理する」ことを体験してみよう。BCGでは、エアドロップ（無償配布）という特別なサービスやキャンペーンが実施されることがある。今回は本誌の読者に向けた特典として、Chain VerseからオリジナルNFTをプレゼント！

Chain Verseとは

Chain Guardiansという香港のチームにより運営されるOasysのバースの1つ。『ChainArena』など4つのタイトルをOasys上で展開している。次世代ゲームのプラットフォームとして、快適なユーザー体験を提供することを目指す新進気鋭の存在だ。

公式サイト：https://www.chainguardians.io/chainverse

⬆Oasysの非公式キャラOassyがChain Verseの世界観で登場！

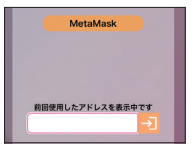
NFTの受け取り方法

QRコードを読み取り画像認証ののち、『メタマスク』がある場合は2で「ウォレットをお持ちの方」を選択。続いて3で自分のウォレットアドレスを入力しよう。まだ『メタマスク』がない場合でも、2で「ウォレットをお持ちでない方」を選べば入手することが可能だ。

1 QRコードにアクセス！

2 NFTの受け取り方法を選択

3 ウォレットアドレスを入力



4 受け取り完了！

PCからのアクセス：https://www.sushitop.io/1qrshot/company/oasys/index.html

ファミ通注目の最新BCG7選！

近日配信が予定されている注目タイトルのうち、Oasysへの参加が確定しているものを先行紹介。正式にリリースされる日を期待して待とう！

アーケードの超人気作『三国志大戦』がブロックチェーンカードゲームになって登場！

三国志大戦 BCG（仮）

大きな専用筐体が設置され、全国のゲームセンターを賑わせた『三国志大戦』。アーケードゲーム版では実際のカードを動かして命令を下す、アクション要素のあるバトルゲームだったが、BCGとなった本作はゲーム性が変わりカードバトルに！『三国志大戦』から踏襲された世界観のなか、プレイヤーの軍勢（デッキ）編成の腕と戦術が戦いの運命を分ける戦術重視のゲーム性となる予定だ。カードのNFTが形成する相場にも注目したい。

GAME DATA　メーカー：double jump.tokyo　配信予定：未定　ジャンル：カードバトル

©SEGA／©2023 double jump.tokyo Inc.

カッコいい・カワイイ美少女を連れて世界一の傭兵会社を目指せ！

かんぱに☆ガールズ RE:BLOOM

累計250万人がプレイしたDMM GAMESの人気ブラウザゲーム『かんぱに☆ガールズ』が、ブロックチェーン技術を採用した最新作『かんぱに☆ガールズRE:BLOOM』として新登場。今季冬頃リリース予定。本作は、美少女キャラでパーティーを編成し、2カ月に1回開催される世界大会でNo.1を目指す戦略的セミオートバトルRPGだ。開発はDMMが設立した新会社・DM2C Studioが担当し、第1弾タイトルとなっている。

GAME DATA　メーカー：DMM.com　配信予定：2023年冬頃　ジャンル：RPG

©DMM GAMES

ブロックチェーンの知識ゼロでも始められるバトルロイヤル！

Trouble Punk（トラブルパンク）

カラフルなキャラクターと豊富なアクションが特徴のバトルロイヤルゲーム。プレイヤーは個性豊かなキャラクターからひとりを選び、ほかのプレイヤーを倒してポイントを獲得する。もっとも多くポイントを稼いだプレイヤーが勝者だ。本作はBCGの初心者にも最適で、遊ぶだけならブロックチェーンの知識や事前準備も一切不要。稼ぐなら各種準備が必須だが、遊ぶだけならすぐにゲームに参加できる。まず体験したい人にうってつけだ。

GAME DATA　メーカー：Catze Labs　配信予定：2023年（βテスト実施中）　ジャンル：バトルロイヤル

©2023 All rights reserved. | Trouble Punk by Yooldo

ゲームをしながら健康にもなれちゃうスゴロクゲーム!?

アルケノムモンスターズ

「皆で楽しみながら健康習慣をつくろう」をコンセプトとした、現実世界で歩くことがゲーム性に直結するユニークなスゴロクゲーム。ほかにも独創的なアイデアが多数盛り込まれており、SNSで目標宣言を行い、その結果によってアイテムNFTの状態が変わる仕組みや、AIアートを使った独自のアバターを生成する機能が用意されている。ゲームのメインとなるスゴロクアプリは現在開発中だが、AIアート機能は先行リリース済。ゲームを遊ぶだけで健康になれる日も近いかも……？

GAME DATA　メーカー：double jump.frog　配信予定：2023年中　ジャンル：ウォーキングRPG

©2023 double jump.frog Inc.

ダークファンタジーの王道を行くハクスラRPG

Dark Throne（ダークスローン）

滅びた世界を舞台に、生き残った英雄たちが王位を奪還すべく奮闘するハクスラ形式のRPGだ。パラディンやアサシンなど好きなクラスのキャラクターを操作してダンジョンに挑み、装備品やアイテムを持ち帰ろう。対人戦が楽しめるアリーナ、スコアを競うリーグ、協力して戦うレイドバトルなども用意されている。なお、本作はPolygonチェーンで先行展開されており、PCブラウザ、Steam、iPhone、Androidでプレイ可能。近日中にOasysでのリリースも発表された。

GAME DATA　メーカー：EPIC LEAGUE　配信予定：2023年中　ジャンル：アクションRPG

©2023 EPIC LEAGUE

1対1のヒリつく闘いに疲れたら釣りでもいかが？

9Lives Arena

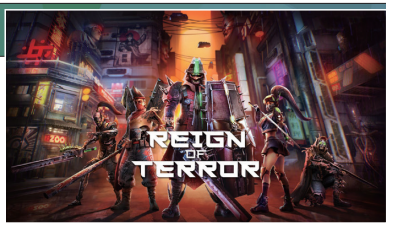
1対1の対人戦をメインとするアクションRPG。相手プレイヤーとの熱い駆け引きが本作の醍醐味だが、一方でさまざまな別の顔を持っている。資源を集めてアイテムを作ってくれるバーチャルコンパニオン“ウーギー”の育成やカスタマイズもその1つ。また、闘いに疲れたら、釣りができるのも大きな特徴だ。単なる息抜きにとどまらず、ライバルたちと釣りのスコアも競えるぞ。

GAME DATA　メーカー：Stargazer　配信予定：2023年（αテスト実施中）　ジャンル：アクションRPG

© 2018 - 2023 Touchhour Inc. 9LIVES ARENA

サイバーパンクな世界を生き抜くタクティカルMMORPG

Reign of Terror（レイン・オブ・テラー）



NFTをアバターとしたメタバースのなかで生活し、エージェント部隊とともに自勢力の拠点を築くのが目的。MMOの要素を備えたタクティカルゲームだ。ゲーム本編に加えて、保管庫のロックを解除して豪華賞品をゲットする“アウェイクニング”、エージェントを活用してNFTをより高いレアリティに到達できる“アップライジング”というコンテンツも用意されている。

GAME DATA　メーカー：Red Door Digital　配信予定：2023年中　ジャンル：MMORPG

© 2023 Red Door Digital. All rights reserved.

ゲーマーのためのNFTプロジェクト OASYX

Oasysが仕掛けるNFTプロジェクトが“OASYX（オアシックス）”。ゲームファンに馴染み深いタイトルやクリエイターも登場するぞ！

著名クリエイターが参加する最新プロジェクト

次々と新タイトルが発表されているOasysだが、ゲーム以外の取り組みとして、ゲーマーのためのNFTプロジェクト“OASYX”も展開している。ここでは、ブロックチェーンの多角的な広がりの一環として、OASYXを紹介していこう。

OASYXでは、定期的に新シリーズが展開されることが発表されており、現在はその第1弾がdouble jump.tokyoよりリリース済み。シリーズごとに著名クリエイターが監修を担当し、人気ゲームや有名IPとも積極的にコラボを展開していく予定とのことだ。

第1弾の監修は、『バーチャファイター』や『シェンムー』などの大人気シリーズを生んだ鈴木裕氏。キャラクターデザインを務めるのは、テレビCMのビジュアルやゲームのキャラクターデザインなど、幅広い分野で活躍するアーティストのGODTAIL氏。そしてBGMは、『イース』や『世界樹の迷宮』などを手掛けた古代祐三氏となっている。

第1弾のOASYXは、今後登場するOasys内のゲームやメタバースで使えたり、持っているだけでOasys関連の特典がもらえるなど、次々と企画が準備されているようだ。

キャラクターデザインはGODTAILE!

『バーチャファイター』とのコラボも決定！

合計10,000体存在するOASYX第1弾のうち、1,000体が『バーチャファイター』シリーズとのコラボNFTだ。『バーチャファイター』、『バーチャファイター2』、『バーチャファイター3』の3作のなかから11人が、OASYX第1弾の世界観で描かれたNFTで登場する。ここでは、登場キャラクターが集合したキービジュアルと、『バーチャファイター』の代表キャラであるアキラとパイのNFTビジュアルを公開。OASYXオリジナルのNFTと同様に、Oasys上のゲームとの連携も期待できそうだ。

アキラやパイなどおなじみの『VF』キャラがNFTで登場！

©2023 SUSUMU MATSUSHITA ENTERPRISE